

【表5】H22年度 がん検診受診率(40～69歳男性)

	胃がん	大腸がん	肺がん
全国	36.6	28.1	26.4
奈良	35.1	27.2	23.0
順位	36位	32位	42位

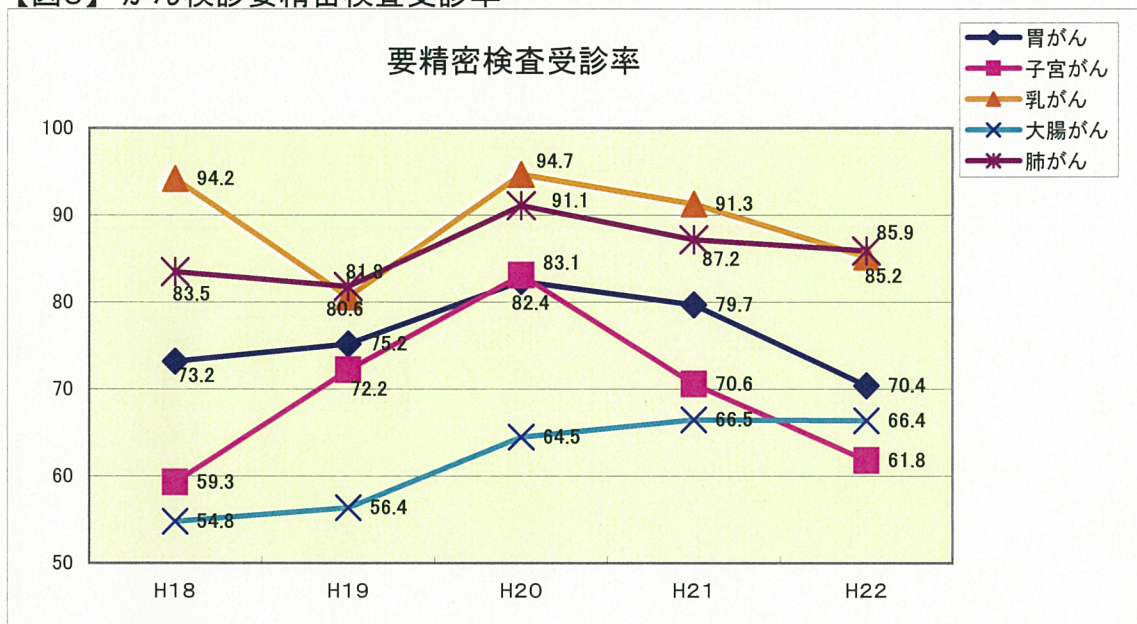
【表6】H22年度がん検診受診率(40～69歳女性)

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
全国	28.3	23.9	23.0	39.1	37.7
奈良	25.2	23.0	17.7	35.7	35.7
順位	41位	33位	44位	36位	38位

【表7】H22年度市町村がん検診受診率

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
全国	9.6	16.8	17.2	19.0	23.9
奈良	6.3	15.9	6.0	20.8	20.0
順位	41位	26位	46位	23位	39位

【図3】 がん検診要精密検査受診率



## 【課題】

## ◆年齢調整死亡率

- ①女性のがん75歳未満年齢調整死亡率が増加している。(表1・図1)
- ②胃がん75歳未満年齢調整死亡率が全国より高い。(表1)
- ③女性のがん75歳未満年齢調整死亡率が増加している。(全国46位)(表3)
- ④乳がん年齢調整死亡率が増加している。
- ⑤女性の大腸がん75歳未満年齢調整死亡率が増加している。(全国24位)

## ◆がん検診受診率

- ①どのがん検診も受診率が全国より低い。都道府県のランキングも低い。(表4・図2)
- ②市町村がん検診受診率は、胃・肺・大腸・子宮がんは全国より低い。
- ③要精密検査受診率が低い。(図3)

## ◆がん検診精度管理

- ①検診対象者に均等な受診勧奨が実施できていない市町村が多い。(30市町村)※精度管理調査結果より
- ②精密検査実施機関から精密検査結果の報告を受けていない市町村が3割ある。(大腸がん、子宮がん、乳がん)
- ③早期がん割合について「過去の受診歴別」に把握していない市町村が3割ある。
- ④陽性反応的中度について「集団検診・個人検診別」「過去の受診歴別」に把握していない市町村が3割ある
- ⑤検診機関の委託で仕様書に必須の精度管理項目を明記していない市町村が多い。
- ⑥市町村精度管理調査結果はB評価が多い。(D評価は減少)
- ⑦肺がん要精検率が高い。
- ⑧精検未把握率が、胃がん、大腸がん、子宮がんが高い。